



速報

## リファレンスで培った技術を 標準サイズに収めたデジタルプレーヤー

松浦正和

前号で紹介された超弩級ユニバーサルプレーヤー「エイドス・リファレンス」には度肝を抜かれた。その興奮もさめやらぬうちに、リファレンスで培われた最新技術をスタンダードサイズの筐体に収めた、エイドス36-Aが早くも登場することになった。

エイドス・リファレンスは限定生産であるので、本機はゴールドムンドのユニバーサルプレーヤーの実質的なフラグシップモデルといえるだろう。また、型番の末尾に付く「A」は、リファレンスと同様にオーディオに最適化されたモデルであることを表わし、同時発売のヴィジュアルに最適化されたエイドス36-Vとの差別化が図られている。

メカニズムは、リファレンスとほぼ同様のドライブメカが搭載されているようで、切削アルミニウムにがっちり固定された上で、テフロン材を介してフローティングされている。このメカニズムに採用されたディスククランパーは、精密加工の施されたアルミニウムで、演奏中のディスクのブレ

を徹底的に排除するという。ピックアップ部には、独自のマグネティックダンパーが用いられ、ディスク回転時の不要振動を抑えこみ、読み取り精度を飛躍的に向上させているという。

DAC部は192kHz/24ビット信号に対応した最新の「アライズ5」を採用。これを6チャンネル分搭載することで、SACDやDVDオーディオのマルチチャンネルすべての高品位化を図るなど、リファレンスの技術をそっくり移植したのではないかと思えるほどの内容だ。

電源部には、4基の電源トランスを搭載。電源ラインからのノイズはもろろんのこと、電源回路の相互干渉を徹底的に抑え込むという、独自のクリーン電源回路「AC Curator」が採用されている。なお、Aヴァージョンの本機は、モニターなどを用意せずハイブリッド盤SACDの読み取り層の切替えを可能とするリモコンが用意される。これはオーディオフィアイルにとってはうれしい機能だろう。

UNIVERSAL PLAYER  
ゴールドムンド  
Eidos 36-A  
¥3,500,000

●再生可能ディスク:SACDステレオ、SACDマルチチャンネル、DVDオーディオ、DVDビデオ、CD他  
●アナログ出力:2ch・アンバランス・1系統(RCA)、6ch・アンバランス1系統(RCA) ●寸法/重量:W440×H125×D380mm/20kg ●問合せ先:ステラヴォックス ジャパン(株) ☎03(3958)9333